

# つるのおんがえし



「ご縁」をいただいたあなたへお届けする、「大きな想い」の「小さなお手紙」



## 今起こっていることは全部 明日からの僕を創ってくれる

今日は4月28日。そっか、今年のGWもなんとなく出かけづらくなっちゃまったのか。いいよいいよ、だったら今出来る事を、爾々とやるだけだぜ、ってなもんで事業とプロジェクト、巻いて巻いて進めております！感動・創庫の芦川永光です。ペランダのバラがようやく花開いて、あっ、やっこ春が来た！って実感です。

### 感動・創庫の存在意義



会社の動きは、昨年からのモヤモヤ、うっぷんを晴らすかの如くスタッフが燃えています！事務所へ行く日を増やし「僕はこうなりたい、ここへ向かいたい」という意思をバンバン伝えると「社長喋りすぎ！」と口に出すことなく、みんなが真摯に聞いてくれていきます。ありがたいっ！  
僕が「こうしたい」という社長だけのエゴは超えて、この船をどうしたいのか？どこに向かわせたいのか？



という意思が、会社を前へ前へ、目標に向けて進めています。数年前のように、スタッフの自立を図るための意図や行動は必要ありません。無為自然のあり方に、共鳴しているのだと思います。そして、お客様先への訪問も春先から続けています。僕らの事業へのご期待は大きく、貢献できる機会はいっぱいある。やっぱり感動・創庫は業界はもちろん、時代の先頭を走る使命を負っているのだと痛感しました。僕らがやらずに誰がやる！っていう覚悟です。

### 金が欲しいからじゃねえ やりたいからやるんだ！

そしてプロジェクト。間も無くいくつかの成果をお見せ出来るところまでまし

た。とにかくワクワクしています。お金儲けの面白さを遥かに超えた、全く新しい価値を提供するムーブメント。いずれあなたもグリーンに巻き込まれることでしょう(ニヤリ)あぁ、早く見せびらかしたいっ！！  
僕が今、行動する上で、お金と時間が制限になることはありません。お金をもらえるからやる！とか、時間が足りないからやらないという区別はしません。やりたい事と仕事の優先順位は全く同じで、先に決まった予定で動くだけです。  
さあ、あなたも「思いのままに生きられる世界の住人になって、やりたい事に没頭しちゃってください。僕が寄り添いサポートしますので、助けが必要でしたら呼んでください。あなたの思いつき、あなたの願い、なんでも聞かせてください。



感動・創庫

料金後納  
郵便

ゆうメール

株式会社 感動・創庫  
kando-soko

〒259-1145 神奈川県伊勢原市板戸208-103

☎0463-79-9777

FAX0463-79-9778

<https://kando-soko.co.jp>



# また一つ夢が叶いました

2012年に大切にしていたバイクを維持できずに泣く泣く手放し。仕事を頑張って頑張って2016年、掘り出し物を見つけてバイクを再購入。今日まで大事に乗ってきましたら、新しいご縁をいただきました。経営者の先輩が手放そうとされていたバイクが、僕がどこに行くのでも気になっていた車種でして、これはあやかるしかない！ということ譲っていただいたんです。

バイクは止めたままだと動かなくなりしますので、次の乗り手に渡るまで乗り続けます。そこで10年近くぶりのバイク運転となった妻の登場。結婚から約8年「夫婦でバイクで出かけた！」と密かに願っていたことがついに叶ったんです。

二人して革ジャンを着て、ぽかぽか陽気の日に繰り出します。ヘルメットの中にイヤホンがついて会話が出来る機械がありまして、「ここ、

フットブレーキね」「はい、右車線入ろう」なーんて教習所みたいなことをしています。とにかく嬉しくて楽しくて！

もう少し年を取ったら、子供を一人ずつ乗せて、家族でバイク旅だね！これが次の目標！



キャンピングカーショーに行ってきたよ!!  
見るだけでもワクワクするよね~



久しぶりの画伯コーナー  
子供達が好きなので、家の中には  
あちこちにトーマスがいます。  
「うん、よく描けてる!」と  
とてもいい仕上がりに  
なったとのこと。



## 編集後記

### 親育てを買って出る子



「わあすごい！良くできたね」  
子供が次々と新しい事ができるようになって、親としてその成長を喜ぶばかりでしたが、最近、やることの中にいたずらが増えてきて、夫婦で結構まいっています。

です。イラついてぶっ叩きそうになるのを抑えたりして、ハア〜ぐったり疲れましたって感じになった時、僕自身の感情を落ち着いて観察しました。

僕は、子供が新たに出来るように

車を運転中、前の座席まで歩いてきて、ハザードランプのボタンを押して、ケタケタ笑ったりします。僕が「おーい！」とツッコむのが楽しらしく、何度も何度もやるんです。「もうっさい！」と言つとますます喜び、止まりません。保育園で食後の歯磨きをしていることの延長なのでしょう。コップで水を飲み、それを口に含んだまま、所構わずピツと吐き出します。床の上、ソファ、じゅうたん、おかまいなし

なりました事を、されて嬉しい事と嫌な事として、自分の価値観で区別をしていました。子供がする事に善悪はありません。悪気どころか、出来るようになったことを親にアピールしているかもしれない。僕はそんな子供の自由さに余裕を持たず、制限をかけそうになっていました。  
ということで、子供の成長は止まることはなく、親育てもまた、生きる間はず〜と続くのです。  
ふう〜、深呼吸深呼吸っ！

